

日露青年交流事業

参加者の声

(2018 - 2019)



日露青年交流センター
Японо-Российский центр
молодёжных обменов

(はじめに)

日露青年交流センターでは、1999年の事業開始以来、短期招聘・派遣事業等を通して日露の青年交流を図る様々なプログラムを実施してきました。

本冊子では、2018年度に実施した主要な招聘、派遣プログラムの概要及び同プログラムに参加した方の感想を紹介しています。日露青年交流事業に関心のある方には是非、ご一読願いたく、この度本冊子を作成しました。

(日露青年交流センター設立の経緯)

1998年11月、日露首脳会談（小渕総理、エリツィン大統領）において日露間の国民レベルの人的交流を抜本的に拡充することで合意し、1999年5月、両国の政府間協定に基づき国際機関として設置された日露青年交流委員会の事務局として日露青年交流センターが設立されました。

2008年4月、両国首脳（福田総理、プーチン大統領）は日露合わせて毎年500名規模の日露青年交流を実施することで合意しました。

2012年にこの目標が達成されたことを踏まえ、2013年4月、日露首脳会談（安倍総理、プーチン大統領）で両国間の青年交流の一層の拡大を支持しました。

そして、2016年12月の日露首脳会談（安倍総理、プーチン大統領）では、安倍総理から大学間交流及び青年交流の倍増とスポーツ交流の3倍増、地域間交流の活性化等の成果を確認し、日露関係の更なる発展につなげていくことで一致しました。

日露青年交流センターは、日露青年交流委員会の決定に基づき、

- (1) 短期招聘・派遣事業
- (2) 日本語教師派遣事業
- (3) 若手研究者等に対するフェロースhip供与事業

を主な事業として、1999年7月の事業開始以来、2018年度末までに8,286名（2018年度は1,384名）の日露の青年交流を実施しています。

(目次)

・2018年度実施事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
・「ロシアにおける日本年」・「日本におけるロシア年」特別事業・・・・・・・・	P 4
・日本語学習者招聘プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・	P 6
・日露青年フォーラム・・・・・・・・・・・・・・・・	P 8
・武道・スポーツ交流・・・・・・・・・・・・・・・・	P 10
・文化交流・・・・・・・・・・・・・・・・	P 11
・フェロシップ供与事業・・・・・・・・・・・・・・・・	P 12
・日本語教師派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・	P 13



愛媛オレンブルク文化交流



ウラジオストク囲碁交流

(実施事業例・交流人数)

短期招聘

年	開始日	終了日	グループ名
2018年	4月3日	～ 4月10日	サハリン写真家交流
	6月5日	～ 6月12日	ハバロフスクよさこいソーラン交流
	6月10日	～ 6月17日	大分剣道交流
	6月21日	～ 6月28日	北海道サハリン将棋チェス交流
	7月3日	～ 7月10日	日本語学習青年招聘プログラム
	7月9日	～ 7月16日	國學院大學・剣道文化交流
	7月14日	～ 7月21日	天道館合気道交流
	7月25日	～ 8月1日	北海道・極東野球交流
	8月2日	～ 8月9日	山形モスクワ花笠交流
	8月7日	～ 8月14日	サハ・シカチアリャン和太鼓交流
	8月19日	～ 8月26日	山形市・フジル村文化交流
	8月20日	～ 8月27日	秋田市ウラジオストク・バレエ交流
	8月21日	～ 8月28日	障害者支援交流
	10月7日	～ 10月13日	日・サンクトペテルブルク美術大学間交流
	10月7日	～ 10月14日	クラスノヤルスク地方青年団招聘
	10月14日	～ 10月21日	千葉・エカテリンブルク学生交流
	10月17日	～ 10月24日	サンクトペテルブルク青年間交流
	10月19日	～ 10月26日	日露青年フォーラム 2018
	10月28日	～ 11月4日	日本語履修高校生交流
	10月28日	～ 11月5日	ニジニノヴゴロド聾学校交流
	10月29日	～ 11月5日	ロシア武道代表団
	11月1日	～ 11月8日	サンクトペテルブルク空手交流
	11月6日	～ 11月13日	日本語履修大学生交流
	11月18日	～ 11月25日	秋田・青森青年間交流
11月21日	～ 11月28日	愛媛オレンブルク文化交流	
12月11日	～ 12月18日	鳥取・ウラジオストクバレエ交流	
12月12日	～ 12月19日	サハリン・士別ウエイトリフティング交流	
2019年	1月18日	～ 1月25日	鳥取県・ロシア極東囲碁交流
	3月4日	～ 3月11日	極東剣道交流
	3月12日	～ 3月19日	札幌ノヴォシビルスク学生交流

など

招聘人数：704名

(実施事業例・交流人数)

短期派遣

年	開始日	終了日	グループ名
2018年	4月2日	～ 4月9日	日本人高校生派遣
	4月17日	～ 4月24日	村山市・ヤクーツク市柔道交流
	5月11日	～ 5月17日	ニジニノヴゴロド伝統・現代日本文化交流
	5月22日	～ 5月27日	新潟ハバロフスク総踊り交流
	6月1日	～ 6月3日	練習帆船「海王丸」ウラジオストク寄港
	6月21日	～ 6月27日	全日本弓道連盟・エカテリンブルグ弓道交流
	6月24日	～ 7月2日	愛知クラスノヤルスク剣道交流
	7月14日	～ 7月22日	九州・クラスノヤルスク高校生ラグビー交流
	7月17日	～ 8月1日	若手刀鍛冶グループ・ウランウデ交流
	7月28日	～ 8月2日	函館・ユジノサハリンスク柔道交流
	7月28日	～ 8月4日	福島県・リヤザン文化武道交流
	7月31日	～ 8月7日	石狩・ワニノ姉妹都市交流
	7月31日	～ 8月9日	至誠館合気道交流
	8月5日	～ 8月10日	山口クラスノダールサッカー交流
	8月16日	～ 8月21日	舞鶴ナホトカ・ソフトボール交流
	8月19日	～ 8月25日	宮城県・ニジェゴロド州サッカー交流
	9月9日	～ 9月16日	ウラジオストク囲碁交流
	9月11日	～ 9月18日	「ハバロフスクを知ろう！自然・文化・交流」派遣
	9月16日	～ 9月23日	経済学部学生交流エカテリンブルグ派遣
	9月16日	～ 9月24日	日露友好シベリア横断列車
	9月23日	～ 9月30日	日露青年フォーラム 2018
	9月30日	～ 10月5日	日本武道青年代表団派遣
	11月6日	～ 11月11日	劇団「札幌座」ハバロフスク公演
	11月8日	～ 11月15日	日露相撲交流
2019年	2月27日	～ 3月4日	琉球チムドン楽団モスクワ派遣
	3月23日	～ 3月28日	ウラジオストク将棋チェス文化交流

など

派遣人数：658名

フェロースhip供与事業

若手研究者等フェロースhip（ロシア人招聘）：3名

若手研究者等フェロースhip（日本人派遣）：1名

フェロースhip人数：4名

日本語教師派遣事業

日本語教師派遣人数：18名

交流人数合計

2018年度交流人数 合計：1,384名

1999年事業開始以来 交流人数 合計：8,286名

「ロシアにおける日本年」

2018年度は「ロシアにおける日本年」・「日本におけるロシア年」として様々な特別事業を実施しました。

2018年	6月	練習帆船「海王丸」ウラジオストク寄港	(135名)
	9月	日露友好シベリア横断列車 <small>(ハバロフスク、ピロピジャン、ブラゴヴェシエンスク、チタ、ウランウデ、イルクーツク)</small>	(26名)
		日本武道青年代表団派遣 <small>(ハバロフスク)</small>	(40名)
	10月	ロシア武道代表団招聘 <small>(那覇・姫路)</small>	(66名)
	11月	劇団札幌座 ハバロフスク公演	(6名)
		日露相撲交流(派遣) <small>(モスクワ)</small>	(32名)
2019年	2月	琉球チムドン楽団モスクワ派遣	(14名)
		など	

練習帆船「海王丸」ウラジオストク寄港

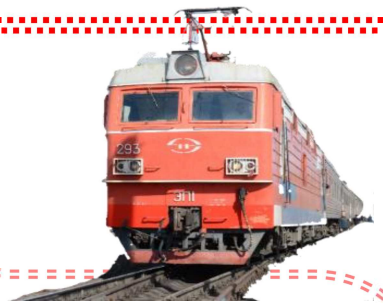
練習帆船「海王丸」ウラジオストク寄港事業を実施し、ウラジオストク海洋国立大学学生と交流をしました。同校練習帆船「ナデージュダ号」、海王丸の相互親善訪問などを通じ友好を深めました。

共催：海技教育機構 / ウラジオストク海洋国立大学

「想像を上回る歓迎を受け感謝しました。街中でも何度も話しかけて頂いて、みなさん愉快で、言葉が通じないことも気になりませんでした。」(海技大学校 安達 大貴)

「同じ志を持つ者として頑張る彼らを見て、多くの学生が刺激されていたように感じました。」(東京海洋大学 内田 勤二)

・「日本におけるロシア年」特別事業



琉球チムドン楽団モスクワ派遣

琉球音楽、舞踊、沖縄空手を融合したグループ「琉球チムドン楽団」をモスクワへ派遣し、現地の日本文化愛好家と「桜×祭*」での合同演奏などを行いました。
*地域の魅力海外発信支援事業（外務省）

「ロシア人参加者とのコラボレーションは大成功に終わり、短い時間で仕上げたロシアメンバーの熱い姿勢に感銘を受けました！」

(高尾 英樹)



日露友好シベリア横断列車

ハバロフスク、ビロビジャン、ブラゴヴェシエンスク、チタ、ウランウデ、イルクーツクをシベリア鉄道で巡り、メンバーはコスプレや殺陣、柔道、和太鼓、山形花笠などを披露し、各地の若者と交流を深めました。

「花笠公演後、ロシアの方々が温かくハグや挨拶をしてくれ、素晴らしかった、と言葉をかけてもらえました。ロシアの方々を感動させられて本当に嬉しかったです！」

(山形大学 大橋 陵)



ロシア武道代表団招聘

ロシアの民族・伝統武道（マス・レスリング、ハブサガイ、コサック武術、ブリヤート弓術、ブヘ・バリルダーン、コレッシュ、アムール地方伝統格闘技、サンボの8種目）の代表団を招聘し、演武・体験交流会を実施しました。

共催：日本武道館、ロシアスポーツ省、ロシア武道連盟

日露相撲交流

合同稽古や日露相撲大会を通じ交流しました。日露相撲大会では熱戦が繰り広げられ、41対40で日本が勝利しました。

「日本とは違う相撲の取り方があり世界がとても広いということを実感しました。」

(行 大成)

共催：

日本相撲連盟、モスクワ市相撲連盟



劇団「札幌座」ハバロフスク公演

アイヌ伝統の歌と現代の踊りを融合する劇団「札幌座」をハバロフスク市に派遣し、ワークショップなどを通じた交流を行いました。

「国内外さまざまところで公演をしていますが、こんなに温かく歓迎し、楽しんでもらったことはないのではないかと思います。アイヌ、日本、そしてロシアの歌を歌いたくさんのことを話しました。」

(劇団札幌座 マユン)



お客さんも舞台上に参加

日本語学習者招聘プログラム

7月 日本語学習青年交流プログラム（2018年7月3日～7月10日）



ロシア各地で日本語を学習する社会人 21 名を東京、長崎に招聘しました。

長崎大学で交流、日本文化体験、長崎とロシアの歴史学習などをしたほか、被爆者講話聴講などを通じ平和の大切さを学びました。

長崎はロシアと長い関係がある街ということを知り、とても興味深かったです。

被爆者講話を聴講した際は涙が止まらず、戦争は絶対にあってはならないことだと強く感じました。

（ウラジオストク チクシナ・エレナ）



鎌倉散策



長崎大学書道部にて



田上長崎市長表敬訪問

10月 日本語履修高校生交流プログラム（2018年10月28日～11月4日）



京都府立北稜高等学校にて

ロシア各地で日本語を学ぶ高校生 52 名を招聘しました。

京都府立北稜高等学校、早稲田大学高等学院、東京都立北園高等学校を訪問し、音楽、スポーツ、プレゼンテーションなどを行い交流しました。



都立北園高校にて



早稲田大学高等学院での歓迎



ダンスの披露

日本文化のあらゆる側面について学ぶことができ、また、日本語を実践することができました。

将来、日露の友好促進に携わりたいと思います。

(サンクトペテルブルク

リャザノワ・ウリヤナ)

11月 日本語履修大学生交流プログラム（2018年11月6日～11月13日）



金沢大学学生と

ロシアの 19 都市で日本語を学習する大学生・大学院生 56 名を東京、石川に招聘しました。

石川県では金沢大学での交流や文化体験、都内では東京外国語大学でロシア語専攻の学生約 50 名との交流を行いました。

金沢大学では出身地についてのプレゼンを行い、たくさん日本語で会話することができました。

東京外国語大学で行った、日本語とロシア語のゲームもとても楽しかったです。大勢の日本人の友達ができ、今でも連絡を取り合っています。



野田山ロシア人墓地



金箔貼り体験



東京外国語大学にて

(ハバロフスク

プロトニコワ・アナスタシヤ)

9月23日～9月30日 46名派遣

日露青年フォーラム 2018 in ロシア



モスクワ・リャザン・ウリヤノフスクに日本人青年46名を派遣しました。各都市でロシア人青年と分科会テーマについて活発な意見交換を行いました。

また、大学訪問、文化交流などを通じ、各地域の歴史や芸術、文化についての見識を深めました。

日露青年フォーラム

分科会「スポーツと健康づくり」では現地の学生が剣術や棒術を披露してくれた。ロシア側の発表内容も合気道の普及についてという内容だった。

私は今まで自身の将来像が全くなかったが、武道発祥の国である日本出身で、大学で体育を専攻しているという事もあり、海外へのさらなる武道や日本の伝統文化の普及に努めたいという将来のビジョンを見出すことができた。

(筑波大学 大越 崇浩)

分科会テーマ

- ・スポーツと健康なライフスタイル
- ・中小企業分野での協力振興
- ・日本におけるロシア語・ロシアにおける日本語
- ・民族文化の保存と普及



10月21日～10月23日 93名参加（うち日本人：45名）

日露青年フォーラム2018 in 大阪 — 未来に続く日露の協力 —



共催：近畿大学

10月19日から10月26日にかけて、ロシア各地に住む青年48名を招聘しました。

10月21日から23日の3日間は日露青年フォーラムを開催し、活発な意見交換が行われました。

また、近畿大学相撲部、邦楽部や応援団の見学を通じ日本文化を学んだほか、奈良、京都を訪問し、各地域の歴史や芸術を学びました。

共催：ロシア青年人材センター

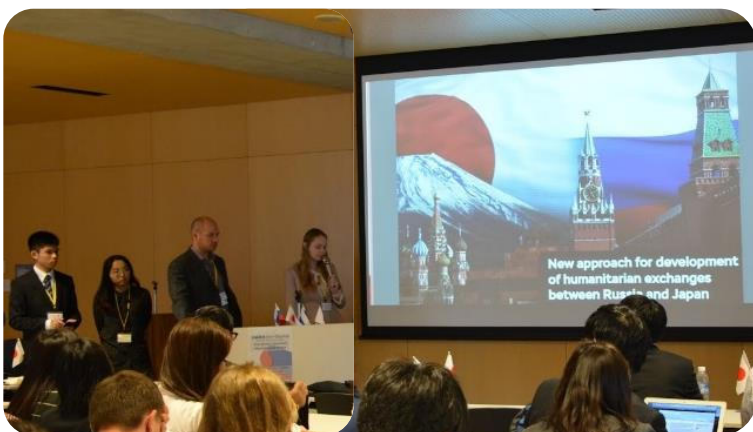


分科会テーマ

- ・長寿化社会におけるライフワークバランスの実現のために必要なこととは
- ・中小企業交流・協力の抜本的拡大
- ・人的交流を拡大するために考えられる今後のアプローチ
- ・ボランティア分野における日露の青年の交流・協力・発展

フォーラムでは、参加者全員と交流することができました。特に分科会での活動が印象に残っています。たくさんの新しい友人ができ、日本の文化、宗教、伝統、習慣を学ぶことができました。

（モスクワ言語大学 オルローワ・ニーナ）





写真：(上段) 至誠館合気道交流 (派遣), サントペテルブルク空手交流 (招聘)

(中段) 舞鶴ナホトカ・ソフトボール交流 (派遣), 山口クラスノダールサッカー交流 (派遣)

(下段) 九州・クラスノヤルスク高校生ラグビー交流 (派遣)

ロシアの柔道選手は力が強く驚きまし
たが、笑顔で楽しく練習をすることが
できました。

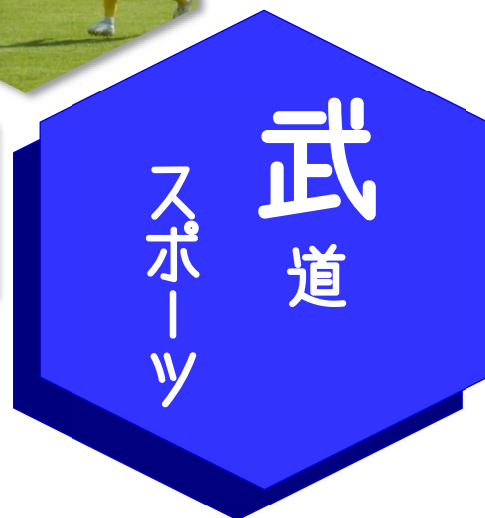
新しくできた友人に会うために、
また是非ユジノサハリンスクを
訪れたいと強く思います。

函館・ユジノサハリンスク柔道交流
(派遣) 参加者一同



日本のみなさんの
手厚いもてなしやスポーツ
マンシップが深く印象に残
りました。

サントペテルブルク空手交流
(招聘) 参加者一同



剣道、居合道、杖道、合気道、柔道、弓道、空手、相撲、野球、

ウェイトリフティング、ラグビー、サッカー、ソフトボールなど

多様な種目での交流を実施しました。



日本人学生との合同稽古や交流が素晴らしかったです。
大勢の日本人剣道家に温かく受け入れていただき、交流することができました。

國學院大學・剣道文化交流 (招聘) 参加者一同

日本舞踊、バレエ、将棋・チェス、囲碁、

和太鼓、美術、演劇、殺陣、刀鍛冶など、

新しい分野での交流も行うことができました。

文 化



豊に座して日本人と将棋を指せたこと、ずっと学習してきた日本語を母語話者と実際に話せたこと、二校の高校を訪問して日本人の高校生たちと和太鼓や書道を体験できたことなど、一生忘れられない体験ができました。

北海道サハリン将棋チェス交流 (招聘)
参加者より



わずか1日で鍛錬作業の準備ができたのは奇跡的です。一緒に良いイベントにしようとしてくれた現地の皆様に感謝が絶えません。コサックの方との馬術交流、現地鍛冶職人の方との交流などもできました。

若手刀鍛冶グループ・ウランウデ交流
(派遣) 参加者より

写真：(左列) 愛媛オレンブルグ文化交流 (招聘)、秋田市ウラジオストク・バレエ交流 (招聘)、ニジニノヴゴロド壘学校交流 (招聘)
(右列) ハバロフスクよきこいソーラン交流 (招聘)、山形モスクワ花笠交流 (招聘)

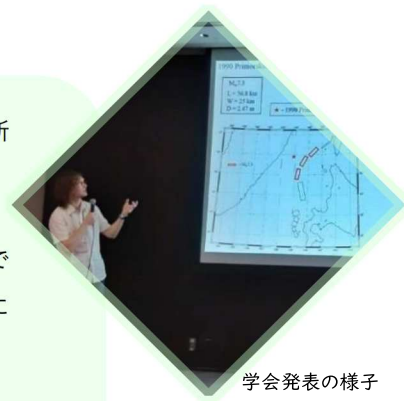
若手研究者等フェローシップ事業

2018年度はロシア人研究者3名、日本人研究者1名に対しフェローシップを供与しました。

北海道大学地震火山研究観測センターでの研究環境に感動しました。研究に集中して、新たな知識を得るための環境が整えられています。

日常生活面では公共交通機関の利便性に驚かされました。北海道内の旅行では地方都市でも大都市と変わらずインフラが発達していることが分かりました。すべては住民のためによく考えられ作られています。

北海道大学 理学研究院 ネットチェフ グリゴリー 研究テーマ：地震と地殻変動



学会発表の様子

京都大学にしかない文献で研究を行うことができました。また、日本の古文書の読解力を磨くことができました。素晴らしい方たちとの出会いや、様々な日本の文化を学べたことも、貴重な体験となりました。

京都大学大学院 文学研究科 ドゥーリナ アンナ
研究テーマ：中世日本思想における八幡信仰



ただ「研究だけ」をしていい（しかも資料が有り過ぎて困る…!）という贅沢な約半年間でした。またロシア国立人文大学で受け入れ教官となっていたいただいたT・ダーシコヴァ先生は、研究者としても人間的にも素晴らしい方で、とても充実した時間を過ごすことができました。

ロシア国立人文大学 ヨーロッパ文化高等学院 北井 聡子
研究テーマ：1920-1930年代ソ連文化におけるジェンダー表象



経済学の様々な分野の専門家と知り合い、交流を持つことができました。また、研究に必要な資料収集をすることもできました。日本で知り合った皆さんに感謝します。

京都大学 経済研究所 サロマソワ マルガリータ 研究テーマ：日本における中小企業の国際化



訪問先企業の皆様と

日本語教師派遣事業

2018年度は18名の青年日本語教師を、

ロシア16都市の高等教育機関（大学）に派遣しました。



ロシアなのに暖かい、花と緑にあふれたクラスノダールを学生たちとよく歩きました。

でもさすがロシアっ子、実は雪の降る寒い街に憧れているとか。固定観念が覆されるほどにロシアに親しみが湧く、そんな2年間でした。

クバン国立大学 田中 裕子



日本語を教えることや青年交流を通して「ロシア」を知り、知れば知るほど魅了された3年間でした。

学生たちにとっても、日本語の学習を通して感じた、知った、体験した「日本」が心に残るものであったら嬉しいです。

サンクトペテルブルク国立文化大学 鈴木 麻由



年賀状を作りました

授業内外での日本文化紹介活動に力を入れました。

学生には日本語でハバロフスク紹介をしてもらうなど、日本語を活用させる場を多く持つように心がけました。

これらの活動を通じロシアの大学生と深く対話することができ、貴重な体験となりました。

ハバロフスク国立経済法律大学 大河内みとな

日露青年交流センター

住 所 : 〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目 17-14
西新橋エクセルアネックス 7 階

T E L : 03-3509-6001

F A X : 03-3509-6008

E - m a i l : info@jrex.or.jp

H o m e P a g e : <https://www.jrex.or.jp>

Facebook : @JapanRussiaYouthExchangeCenter

Twitter : @jrex_tw

表紙写真

左上: 石狩・ワニノ姉妹都市交流 (派遣) / 右上: 山形モスクワ花笠交流 (招聘) / 左下: 宮城県・ニジェゴロド州サッカー交流 (派遣) / 右下: 日露相撲交流 (派遣)